

第6回 日本医療安全学会学術総会

全職種における医療安全文化の継承 —安全を創る・人をはぐくむ— --- One team による医療安全 ---

— 臨床リスクアセスメント、臨床リスクマネージメント(レジリエンスを含む)、
臨床リスクコミュニケーション、臨床リスクガバナンス —

— 臨床クライシスアセスメント、臨床クライシスマネージメント(レジリエンスを含む)、
臨床クライシスコミュニケーション、臨床クライシスガバナンス —

密室での会議が新型コロナウィルス感染による全国病院での院内感染の巨大な発生
を招く強烈な危険性があります。本総会は集会から、インターネット会議に変更に
します。

… 2月 21 日

会期

2020年3月6日(金)～8日(日)

3月27日(金)～31日(火)

会場

東京大学本郷キャンパス (東京都文京区本郷7-3-1)

インターネット上

共同総会長

稻田 英一

(順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座 主任教授、前日本麻酔科学会理事長)

秋野 裕信

(福井大学付属病院医療安全管理部部長 教授)

新村 美佐香

(横浜メディカルグループ医療安全推進部長、菊名記念病院医療安全管理室室長)

各会場入り口では参加証ないし参加費領収書を提示ください。不携帯の際にはご入場いただけません。

(対象者) 病院経営者、病院長、医療行政担当者、総括医療安全管理者、医科医療安全管理者、歯科医療安全 管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、病理医、臨床医、薬剤師、保健師、看護師、訪問看護師などの在宅医療関係者、ケアマネージャー、介護福祉士、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、院内法務担当者、弁護士、研修 医、学生、医療産業従事者、その他の医療職の方

【下記のサテライトイベントはすべて中止となりました】

会員ネットワーク交流会

3月6日(金)17:00～19:00

医学部2号館1階講堂

市民公開講座 (1), (2)

3月7日(土)13:00～17:00

医学部2号館1階講堂

市民公開講座 (3)

3月8日(日)15:30～17:20

法文1号館1階21番講堂

(受付開始時間)

3月6日(金)午後4時

3月7日(土)午前8時

3月8日(日)午前8時

※3月6日のプログラム(日本医療安全学会ネットワーク交流会: 東大医学部2号館3階大講堂)には日本医療安全学会会員のみが参加できます。

http://jpses.org/6thJPSCS/delegate_meeting.pdf

※3月7日～8日の市民公開講座(東大医学部2号館3階大講堂、法文1号館)のホームページは以下です。

<http://jpses.org/6thJPSCS/citizensymp.pdf>

(インターネット学術総会のホームページアドレスの通知)

3月25日にお教えします。

(電子版抄録集のホームページアドレスの通知)

事前にお教えします。

ただし、3月7日～8日の内容で印刷します。

インターネット学術総会では、この抄録集の原稿を参照してください。

~~当目申込者へは電子版抄録のホームページをお教えします。~~

~~なお、印字版抄録を当目に購入可能です。~~

~~事前登録をされ、かつ参加費振り込み済みの方: 事前に電子メールにてお知らせします。~~

~~事前登録をされて参加費当目支払いの方: 当日受付でお知らせします。~~

~~SIM付の携帯端末(スマートフォン、iPhoneなど)をご持参ください。~~

~~携帯端末の貸し出しは致しません~~

(参加証と領収書)

郵送します。

ただし、あくまで3月7日～8日の会期の代理です。この日付の領収書と参加証となります。

(参加証+ネームカード、領収書、ネームカード入れ)

~~2月1日までに参加費を支払われた方: 2月下旬までに郵送いたします。~~

~~当日会計の方: 当日受付にてお渡しします。~~

~~各会場入り口では、ネームカードないし参加証の提示が必要です。(市民公開講座をのぞく)~~

(印字版抄録集の配布)

~~購読希望者は当目受付にてお渡しします。~~

郵送します。

ただし、3月7日～8日の内容で印刷します。

インターネット学術総会では、この抄録集の原稿を参照してください

参加者へのご案内

1. 事前参加申し込みの締め切り： 2021年3月23日

2. 事前参加登録者の参加費振込：

支払い締め切り 2020年3月23日までに振り込み控えをFAXください。

(振込先口座)

銀行支店名：みずほ銀行 本郷支店 支店番号：075 口座番号：普通 4092033
口座名義：JPSCS 総会

3. 参加費 クレジットカードはご利用いただけません。

日本医療安全学会の会員	学部生 / 研修医	その他
参加費（事前申込あり、非課税）	9,000	4,000
参加費（事前申込なし、非課税）	11,000	6,000
印刷抄録集	3,000	3,000
懇親会参加費（税込）	5,000	5,000

- お支払いされた方には、参加証兼領収書をお渡しいたします。会期中は必ず着用してください。
- 大学院生は一般扱いです。学生の方は、受付で学生証を提示してください。
- 研修医の方は、上司からの証明があれば学生と同額です（証明書様式はHPにあります）。

4. 新入会受付・年会費納入について

→受付にて承っております。

5. 受付

→法文1号館1階ロビー

6. クローク

→法文1号館1階ロビー

7. 懇親会：不開催

第6回日本医療安全学会学術総会

会期: 2020年3月7日(土)・8日(日)

場所: 東京大学本郷キャンパス(東京都文京区本郷7-3-1) Tel 03-3812-2111

【総会長】

稻田 英一 (順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座 主任教授、前日本麻酔科学会理事長)

秋野 裕信 (福井大学付属病院医療安全管理部部長、同教授)

新村 美佐香 (横浜メディカルグループ医療安全推進部長、菊名記念病院医療安全管理室室長)

【副総会長】

青木 郁香 (日本臨床工学技士会)

奥貞 智 (神戸市立医療センター中央市民病院)

【第6回総会顧問】

松村 由美 (京都大学付属病院医療安全管理部部長、教授)

【統括】

酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長、国際医療リスクマネージメント学会理事長)

プログラム委員会: 理事会に同じ

組織委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

実行委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

主催

一般社団法人 日本医療安全学会

後援

【官公庁】厚生労働省 文部科学省

【学会】国際医療リスクマネージメント学会 日本病理学会 日本臨床腫瘍学会 日本神経治療学会 日本アレルギー学会 日本歯科衛生士会 日本リハビリテーション医学会 日本産業看護学会 日本ケアマネジメント学会 日本公衆衛生学会

【専門職団体】日本医師会 日本歯科医師会 日本病院薬剤師会 日本薬剤師会 日本看護協会 日本診療放射線学会 日本臨床工学技士会、他

連絡先

日本医療安全学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770 Email: 6amt@jpscs.org

ごあいさつ

共同総会長挨拶

稻田英一

順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座 主任教授



医療は日々進歩している。新しい薬品の開発や、診断や治療に用いられる医療機器の発達により、高度な医療が胎児から100歳を超える高齢者まで広く行われるようになっている。以前は手術適応にならなかった患者さんたちの治療も、内視鏡手術やロボット支援下手術、粘膜下剥離術、ステント挿入術など侵襲性の低い手術法の開発により多く行われるようになってきている。しかし、副作用がない薬物はないように、合併症を起こさない侵襲的手技はない。検査をしても、偽陽性の場合もあれば、偽陰性の場合もある。検査をしても、適切な患者に当てはめて解釈をしなければ、誤った診断や治療につながる。そして、人は間違いを犯すものである。医療は、誤りから学びながらそれを防ぐための方策を編み出してきた。ガイドラインの作成もその一つである。しかし、それを遵守しなければ意味はない。高い生産性が求められる中、あるいは習慣から、ルールを守らないこともあります。限られた時間の中で情報を収集し、解釈し、判断し、的確な手法を用いて、その患者にあった最良の治療を行うことを常に志さなければならない。医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの専門的なトレーニングの中で、医療安全の文化についての教育は重要である。医療が複雑化し、患者が重症化する中、多職種の協力なしには安全で質の高い医療は行えない。

医療安全の文化を確立するためにはどうするか、いかにその伝統を引き継ぎ、さらに進化させる医療人をはぐくむかは、医療安全のレガシーとして極めて重要なものである。本学術総会では、医療関係者、行政官、そして患者さんたちの知恵を集めて、医療安全の文化について考えていただければと望んでいる。

共同総会長挨拶

秋野 裕信

福井大学医学部附属病院医療環境制御センター
医療安全管理部教授



このたび、第6回日本医療安全学会学術総会の共同総会長に選出され、担当させていただくことになりましたので一言ご挨拶を申し上げます。わたしが初めて本学会学術総会に参加したのは第2回が初めてでした。その際に行政の立場の方を含めた多方面、多職種の方々からのお話を伺い、医療安全の幅の広さに感銘を受けたことを記憶しています。その後、本学術総会で医療ガバナンス、高信頼性組織、チームステップス、ノンテクニカルスキルの重要性など、数多くのことを学ばせていただきました。

第6回学術集会のテーマである「医療安全の継承 - 安全を創る・人をはぐくむ」は、医療安全文化を継続して発展させ、医療安全文化を醸成させて行きたいとの気持ちから生まれたものです。医療安全（患者安全）の普遍化がなされ、すべての医療機関・医療者にとって医療安全が当然のこととなれば、後継者の育成も必要なくなるのかも知れません。しかし、残念ながら現在はその過程にあると言わざるを得ません。第6回学術総会が医療安全文化の醸成を目指す後継者育成に貢献できるようにして行きたいと思います。また、一般演題やポスターでは日頃の活動や研究の成果を発表していただき、実りある総会になるように皆様のご支援、ご協力をお願ひいたします。

共同総会長挨拶

新村 美佐香

横浜メディカルグループ 医療安全推進部部長
医療法人五星会菊名記念病院 医療安全管理室室長



この度、2020年3月7日（土）から2日間にわたり開催されます第6回日本医療安全学会学術総会の共同総会長を、稻田英一先生、秋野裕信先生とともに担当させていただくこととなりました。

今回の学術総会のテーマは、「医療安全文化の継承－安全を創る・人をはぐくむ－」としています。医療安全は、ここまでやれば良いとか、ここまでやつたら終わりということではなく、常に推進していくことが求められます。そのためには組織が一丸となって取り組み、医療安全文化を醸成していくことが大切です。しかしながら多くの医療機関において、医療安全文化を醸成していくことは容易ではありません。

強いリーダーシップの基、多くのスタッフを巻き込みながら、医療安全の芽を育てていく必要があります。そしてその芽を摘むことなくさらに大きく育て、次の世代へ継承していくことが大切です。

日本医療安全学会は、“多職種による患者安全推進”に取り組んでおり、「多職種」でのかかわりが重要だと考えております。今回の学術総会においても「多職種」の視点を取り入れ、組織においてどのように安全を創り、安全にかかわる人を育んでいくかについて、皆様と共に考え共有していく場として、基調講演、教育講演をはじめ多くのパネル討論会を企画しております。参加された皆様の、実りのある学術総会にできればと考えております。多くの皆様方のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々に複雑な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・代議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

(対象者)

医療従事者、統括医療安全管理責任者、専従医療安全管理責任者、専任医療安全管理責任者、医療リスクマネージャー、医療クリエイティブマネージャー、歯科医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、その他医療職の方、医療系の学生

次年度 第7回日本医療安全学会学術総会のお知らせ

会期: 2021年5月の土日2日間

場所: 首都圏

共同総会長:

四柳 宏※ (東京大学医科学研究所附属病院医療安全・感染対策センター長、
感染免疫内科教授、副院長)

清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、前東大病院副薬剤部長)

布施 淳子 (山形大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎看護学講座教授)

※ 代表総会長

副総会長

水本 一弘 (和歌山県立医科大学医療安全)

富田 隆 (帝京平成大学薬学部)

石井 宣大 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部)

理事会・代議員大会のお知らせ

1. 定例理事会

- 2020年3月7日(土) 17:50~19:50
ホテルフォレスト本郷1階会議室

2. 定例代議員大会 (理事の方もご参加ください)

- 2020年3月8日(日) 12:15~12:45
法文2号館1階21番講堂

日程表 2020年3月7日(土)

会場	医療安全推進	安全技術	組織マネジメント	危機ガバナンス/評価アセスメント
部屋名	法文1号館2階 25番講堂	法文2号館2階 31番講堂	法文1号館1階 22番講堂	法文1号館1階 21番講堂
9:00				
	開会式			
10:00		(PN02) パネル討論会 医療テクノロジーは安全性を向上させるか 【稻田英一】	(PN05) パネル討論会 医療安全の引き算の考え方 【松村由美】	(EL08) 教育講演 医療事故調査における法的ポイント —事故調査の上手な進め方 井上清成
	(SP01) 医療機関の災害に対する リスクマネジメント			
11:00		(PN03) パネル討論会 Patient journeyに着目した 安全を創るための取り組み 【杉田匡聰】	(EL05) 教育講演 医療安全のための リーダーシップ論 辰巳陽一	(EL09) 教育講演 事故調査の上手な進め方 —医療安全担当者の立場から 新村美佐香
12:00			(EL06) 教育講演 心理的安全性の 医療・医療安全への展望 辰巳陽一	(EL10) 教育講演 事故を起こしやすい人の心身・行動 的特徴 藤澤大介
13:00				
	(SL01) 官庁講演 世界患者安全の日(WPSD)の紹介 【井上清成】	(EL02) 教育講演 ヒューマンファクター・Safety2 小松原明哲	(EL07) 教育講演 安全マネジメントを 的確に行うための組織のあり方 岡田有策	
14:00				
	(EL01) 教育講演 医療安全への取り組みを 再考しよう 武村雪絵	(PN04) パネル討論会 画像診断報告書確認不足の 問題点と今後の展望 【近本亮】	(PN06) パネル討論会 他分野における安全文化の継承 【岡田有策】	一般演題 (安全技術) 【栗原 慎一郎】 【辻本 広紀】
15:00				
16:00	(PN01) パネル討論会 医療安全として日ごろ抱えて る難問を解決する —成功事例に学ぶ 【許俊銳】	(EL03) 教育講演 低侵襲な小児CTを求めて 前田恵理子	(PN07) パネル討論会 医療事故当事者に対する 心理的サポート体制 【大磯義一郎】	
17:00				
18:00				【 】内は座長氏名

日程表 2020年3月7日(土)

会場	医療安全促進	医薬品安全	多職種ネットワーク	受付 企業展示
部屋名	法文1号館3階 26番講堂	法文1号館3階 27番講堂	工学部2号館地下1階 212番講堂	法文1号館 階ロビー
9:00	一般演題			
10:00	(EL11) 教育講演 臨床研究に特化した患者相談体制 京大病院相談支援センターの現状と課題 上嶋健治	(PN10) パネル討論会 地域で取り組む薬物療法と医薬品安全管理の現状と今後 【鈴木高弘】		
11:00	(PN08) パネル討論会 宗教的背景を持つ患者への対応 【佐久間泰司】	(PN11) パネル討論会 医療安全と業務負担軽減のためのICTと医薬品包装の利活用 【鈴木高弘】 【鈴木智】	(WS01) 交流会 コミュニケーションの齧齧を多職種で語り合う交流会	
12:00				
13:00				受付、企業展示
14:00	(PN09) パネル討論会 医療安全管理者の任期の問題、医療安全推進者の育成 【遠藤純男】	(EL15) 教育講演 PMDAからの講演 【清野敏一】		
15:00	(EL12) 教育講演 安全促進のスマートな進め方 小林幸弘	(PN12) パネル討論会 医療安全管理薬剤師・事始め～薬剤師として何ができるのか、薬剤師に何が求められているのか～ 【奥貞智】	(WS02) 交流会 医療機器の保守点検の問題点を多職種で語り合う交流会	
16:00	(EL13) 教育講演 患者へ上手にコミュニケーション 石川ひろの	一般演題 (医薬品安全) 【富田 隆】		
17:00	(EL14) 教育講演 患者支援センターから見た患者対応のあり方 西隈菜穂子			
18:00				

日程表 2019年3月8日(日)

会場	事故マネージメント	コミュニケーション	制度ガバナンス	危機ガバナンス
部屋名	法文1号館2階 25番講堂	法文2号館2階 36番講堂	法文1号館1階 22番講堂	法文1号館3階 26番講堂
9:00				
10:00	(PN13) パネル討論会 転倒・転落とフレイル 【遠藤純男】	(PN17) パネル討論会 TeamSTEPPSに関する パネル討論会 【海渡健、池田潤平】	(EL20) 教育講演 医療・介護現場における 安全管理の実務-訴訟事例から学 ぶ法的責任の理論と留意点 野坂佳生	(PN20) パネル討論会 医療安全の方法・評価に対する 顕在化技法 【鈴木聰】
11:00	(PN14) パネル討論会 患者誤認の背景と対策 【秋野裕信】	(EL17) 教育講演 医療安全における コミュニケーションの基礎 井手口直子	(PN19) パネル討論会 誤嚥関連事故における法的問題 点 あすみの里事件を題材に 【大磯義一郎】	(PN21) パネル討論会 リスク管理と危機管理 【永山正雄】
12:00		(EL18) 教育講演 安全性を高める組織 -コミュニケーションと信頼- 加藤直樹	(EL21) 教育講演 ワントームによる 医薬品安全の推進 橋田亨	
13:00				
14:00	(PN15) パネル討論会 頸部手術の術後血腫に伴う 気道閉塞リスク ～窒息による死亡を回避する ために看護師、医師に伝えたい こと～ 【福島光浩】	(特別講演) 新型コロナウイルス対策 四柳 宏	(EL22) 教育講演 医師法第21条(異常死体等届出 義務)に関する死亡診断書(死体 検査書)記入マニュアル上の記載 の変遷について 井上清成	(PN22) パネル討論会 コンフリクトマネジメントと AI・機械学習の応用への挑戦 【大滝恭弘】
15:00	(EL16) 教育講演 せん妄患者の患者安全 山田宇似	(EL19) 教育講演 医療訴訟回避におけるイン フォームドコンセントの重要性 許俊銳	(SLO2) 政策シンポジウム 地域医療構造、医師の 働き方改革、医師の偏在是正 【井上清成】	(PN23) パネル討論会 Rapid Response Systemの 導入と実践(普及を妨げている のは何か?) 【水本一弘】
16:00	(SLO2) 次期代表会長講演 第7回医療安全学会総会を 迎えるにあたって 四柳宏	(PN18) パネル討論会 上手にインフォームドコンセン トしましよう 【三森教雄】	一般演題口演(英語) 【Masao Nagayama】	一般演題口演 (危機ガバナンス) 【大島 利夫】
17:00	(PN16) パネル討論 身体拘束と患者安全 【新村美佐香】			
18:00	閉会式			

【】内は座長氏名

日程表 2020年3月8日(日)

会場	安全ワンチーム	医療機器安全	多職種ネットワーク	一般演題(口演/ポスター展示)	ポスター展示	受付 企業展示
部屋名	法文1号館1階 21番講堂	法文1号館3階 27番講堂	工学部2号館地下1階 212番講堂	山上会館 2階ロビー	山上会館 2階ロビー	法文1号館 1階ロビー
9:00						
10:00	(PN24)パネル討論会 IMSグループにおける 多職種による医療安全活 動の実践 【岡田有策】	(PN26)パネル討論会 医療機器安全教育の課題 と 解決に向けた方策 【田仲浩平】	(WS03) 医薬品の使用量の間違い を 多職種で語り合う交流会	一般演題口演 (安全文化) 【横山晋二】 【山下美佳】		
11:00	(PN25)パネル討論会 医療安全管理室における コメディカル部門の重要 性 -お一人様安全管理者から の卒業- 【楠本茂雄】	(EL25)教育講演 PMDAからの講演 【清野敏一】	(WS04) 医療事故調査方法を多職 種で 語り合う交流会			
12:00	代議員会	(EL26)教育講演 医療機器リスクの理解と 医療従事者を支援する技 術 田仲浩平				
13:00	(EL23)教育講演 多職種連携教育の観点か らの医療安全を考える 渡邊秀臣	(PN27)パネル討論会 危ない!医療機器の不具 合と回避方法 【田仲浩平】	一般演題口演 (安全管理) 【長谷川 奉延】 (転倒転落) 【梁 善光】	ポスター板設置		
14:00	(EL24)教育講演 CRMによるチーム安全の 考え方 石橋明	(PN28)パネル討論会 中小病院における 医療機器安全管理の課題 【石井宣大】		ポスター貼付け	ポスター貼付け	
15:00				ポスター発表	ポスター発表	
16:00	市民公開講座(3) 在宅における医薬品の 安全な使用と事故対応 はどうすれば良いのか?			ポスター剥離	ポスター剥離	
17:00		一般演題口演 (医療機器安全) 【森田 明夫】		ポスター板撤去	ポスター板撤去	展示片づけ
18:00						受付

【 】内は座長氏名

企業・報道関係の方へ

1. 企業展示

1) 展示場所

- ・ 法文1号館1階ロビーです。
- ・ 各企業の展示は学会から指定された場所を使用してください。配置表を別送します。

2) 展示時間

- ・ 3月7日（土）9:00～3月8日（日）16:00

3) 資材の事前搬入

- ・ 展示業者に直接連絡します。

4) タクシーでの搬入の方法

- ・ 東大本郷キャンパス正門で下車、徒歩5分

5) 自家用車での搬入の方法

- ・ 東大構内へは竜岡門からお入りください。

竜岡門からの広い道路を直進→道路右側の東大病院前をさらに直進→
バスロータリーを直進すると駐車ゲートがある→ゲートを通過後道が左に曲がる→
曲がり終えて上り坂を直進し坂を登りきり停車→法文1号館（左側）

- ・ 東大構内の駐車料金は、30分まで無料・以降200円/20分、24時間ごと最大3,000円です。

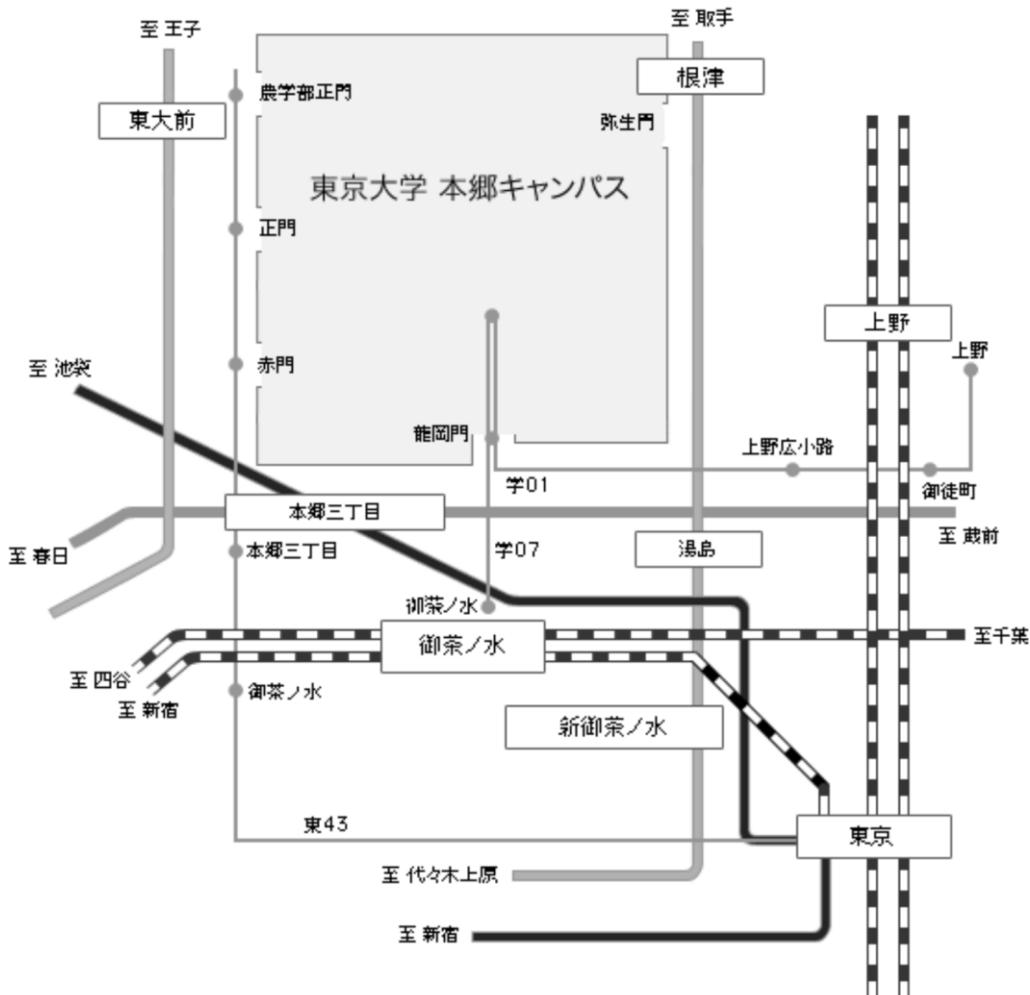
6) 貸出物

- ・ 以下のものを貸し出します。
- ・ テーブル(幅1800mm×奥行900mm)1台、椅子1脚
- ・ 電源: 壁コンセントがあります（上記の配置表に明記します）。
- ・ 利用される場合は10メートル電源コード延長電源コードと電源タップを持参してください。
- ・ その他(バックパネル等)はご自身ご用意してください。

2. 報道機関、出版社の取材記者の方へ

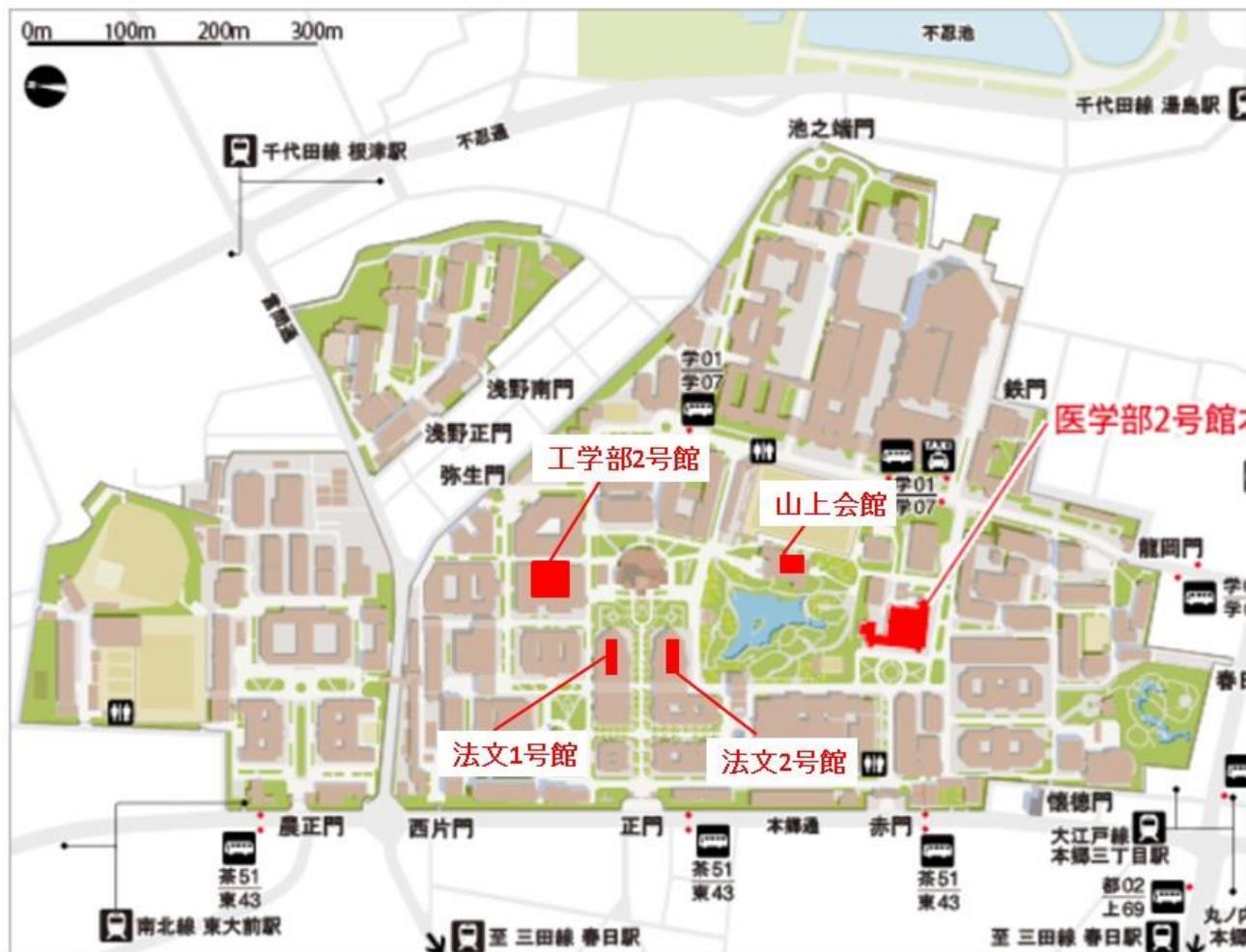
- ・ 参加費は無料で、事前申し込みは一切不要です。事前の問い合わせは不要です。
- ・ 取材記者の方は全員とも当日受付にて名刺をお渡しください。
- ・ 参加証とネームカード入れを差し上げますので、着用ください。着用されない場合は入室禁止です。
- ・ 抄録集(電子版)をお知らせしますので、携帯端末(スマートフォンなど)を持参してください。
- ・ 抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3,000円にて当日購入いただけます。
- ・ 本学術総会の開催について貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

交通のご案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅 (地下鉄三田線)	徒歩 10 分

会場のご案内



法文1号館2階	25番講堂	
法文1号館1階	21番講堂	: 3月8日15:30からは市民公開講座
法文1号館1階	22番講堂	
法文1号館3階	26番講堂	
法文1号館3階	27番講堂	
法文2号館2階	31番講堂	
山上会館2階	国際会議室	: 3月8日午後はポスターア会場
山上会館2階	ロビー	: ポスターア会場
工学部2号館1階	213番講堂	
法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示
医学部2号館1階	小講堂	: 3月6日の学会員ネットワーク交流会 : 3月7日の市民公開講座
医学部2号館3階	大講堂	: 講師準備室、談話室

飲食について

会場内での飲食・喫煙は一切禁止されています。

(昼食)

安田講堂前広場の地下に学生食堂と生協があります。

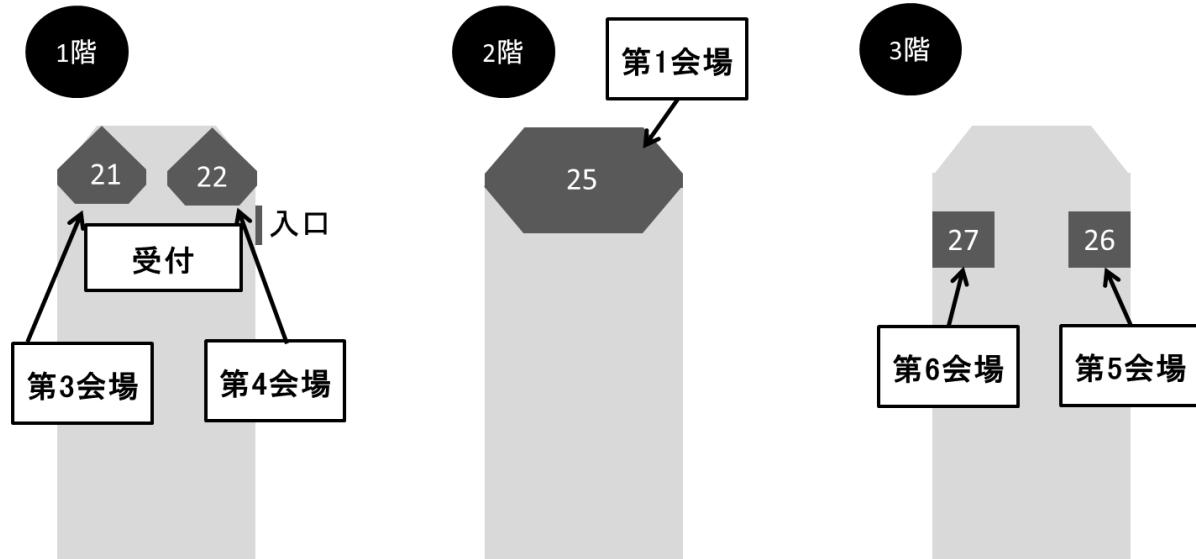
東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後楽園ドームシティーには多数の飲食店があります。(タクシー5分。徒歩15分)



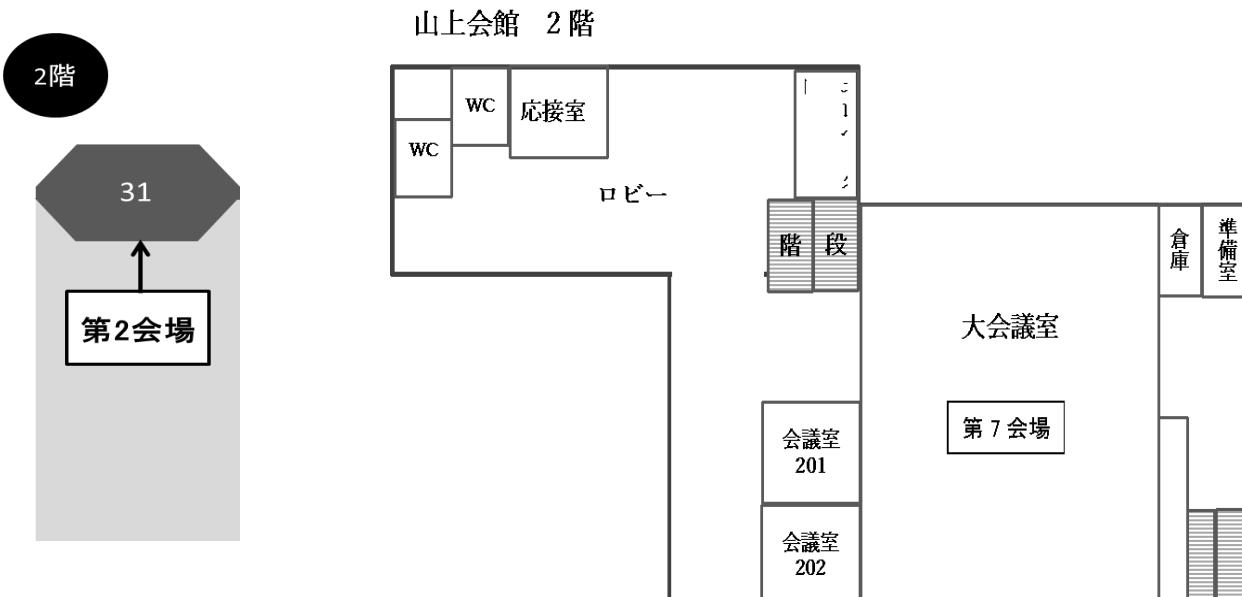
各会場のご案内

法文1号館



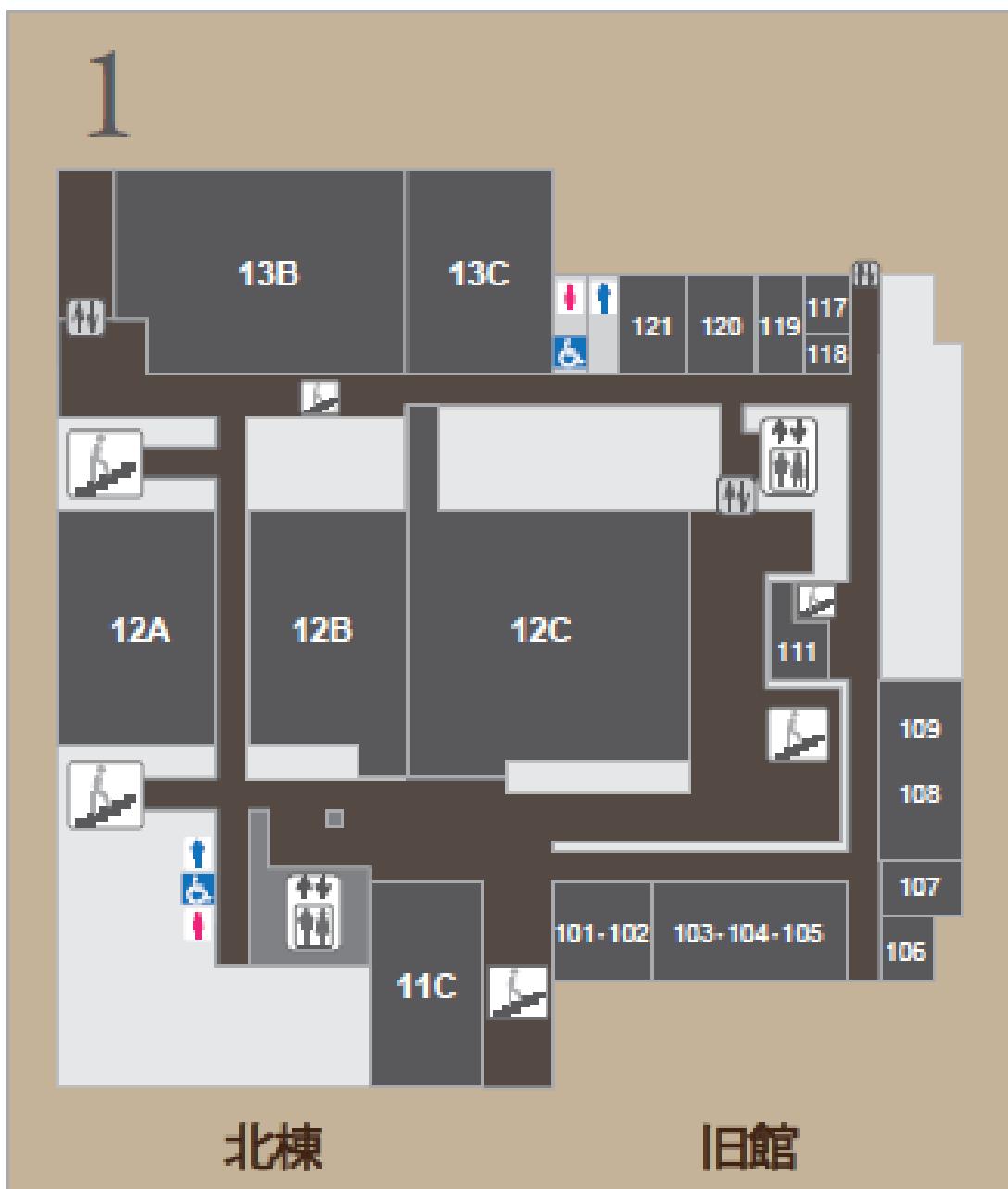
※ 会場に表示のある白抜き数字は「部屋番号」です。

法文2号館



工学部2号館地下1階 212番講堂 (下図の12Bです)

会場への順路図 https://clin.or.jp/?page_id=2287



座長・演者へのお知らせとお願い

1. 座長の方へ

- 受付を済ませてから、ご担当セッションの開始 10 分前までにご入場ください。
- 進行は時間厳守でお願いいたします。アナウンス係の準備はございませんので、時間になりましたら、開始してください。
- 学会賞(ペイシェントセーフティーファースト賞)候補を 2 演題以内で選考し、セッション後直ちに学会本部に電子メールでしてください。
- ・

2. 口演発表の方法

- 一般演題(口演)は 1 題 12 分(質疑時間 2 分を含む)です。
- 各セッション開始の 15 分前までに、次演者席(各会場前方)にお越しください。
- パワーポイント用データ保管の USB メモリーをご持参ください。
- USB メモリーをご自身で PC に装着したのちご自身でご操作ください。
- リモコン操作器具を用意いたします。
- PC(Windows10)一台をご利用できます。
- マッキントッシュ PC をご持参の場合: モニターとの接続ケーブルをご持参ください。

3. ポスター発表の方法

- 会場: 山上会館 2 階 国際会議室およびロビー
- 討論
 - ポスター発表者は定められた時間帯に当該ポスター前にて質疑応答ください。

	掲示	討論	撤去
3月8日	14:00～15:40	14:30～15:30	16:00～16:30

ポスター掲示開始は 14:00 からです。

ポスター掲示終了後、ポスターをすみやかにお持ち帰りください。

撤去終了時刻以降の掲示物は廃棄します。

3) 展示方法

- ポスター展示板に演題番号を掲示しますので、当該番号のポスター板面をご使用ください。
 - ポスターサイズ 縦 115cm、横 85cm
 - 用紙内の最上部にタイトルと発表者一覧を明記ください。
 - ポスター掲示用のスコッチテープをご持参ください。
- 見学者は学会賞(ペイシェントセーフティーファースト賞)の候補となる演題を投票用紙に記入して、ポスター会場に設置する投票箱に投函してください。

4. ペイシェントセーフティーファースト賞

一般演題から審査選考される本学会賞の賞状は、会議後 2-3 か月後にお知らせします。選考は以下の 2 段階方式です。

(第 1 段階選考)

口頭発表: 座長が担当セッション内から 2 演題以内を推薦する。

ポスター発表: 見学者一人一演題を投函用紙に記入し、ポスター会場の投票箱に投函する。

(第 2 段階選考)

第 1 段階選考結果を基に、正副会長がそれぞれの専門分野から受賞演題を決定する。